



空 き家を適正に管理するために

鹿児島信用金庫、JAをお鹿児島、JAおおぞら、鹿児島相互信用金庫と空き家対策協定を締結しました。

2月9日、空き家のリフォームや解体に関する各種相談や金融商品の利活用を推進するため、市内4金融機関と「空き家対策事業に関わる業務連携協定」を締結しました。市内では5軒に1軒が空き家となり、リフォームや解体の相談が増えています。協定は鹿児島銀行、南日本銀行に次いで3例目です。

生 活設計の大切さを学びました

有明中学校で「ゲームで学ぶ生活設計とリスクへの備え」の授業が行われました。

2月13日、同中学校の1、2年生を対象に公益財団法人生命保険文化センターが授業を行いました。授業は、生命保険のしくみなどの説明やサイコロを振って人生の収入やリスクを決めるライフ&リスクゲームが行われました。参加した生徒からは今回の授業を人生設計に活かしたいと感想が聞かれました。



安 楽山宮・安楽神社の春祭り

安楽山宮神社と安楽神社の春祭りが開催され、豊作、豊漁を占う「カギヒキ」などが行われました。

2月13日に安楽山宮神社、14日に安楽神社でそれぞれ春祭りが開催されました。祭りでは、県の無形民俗文化財に指定されている伝統芸能が奉納されました。お高祖頭巾にもも引き姿で踊る「正月踊り」や「田の神さあ」の滑稽な姿を一目見ようと多くの見物客が訪れました。

ふるさと自慢市&文化祭開催

濁ヶ野校区公民館と濁ヶ野地区環境保全協議会がふるさと自慢市&文化祭を開催しました。

2月14日、前日降った雨の影響で会場を旧出水中学校に変更して開催されました。地域の人に喜んでもらおうと始め、今回で9回目の開催となった祭りに多くの来場者がありました。来場者は地元自治会、消防団などの屋台のほか、ちばな保育園児や生涯学習講座生のステージを楽しみました。



県 内一早い春祭り「ダゴ祭り」

志布志町の田之浦山宮神社でダゴ祭りが開催されました。

2月7日、県指定無形民俗文化財の田之浦山宮神社のダゴ祭りが開催されました。地元の小中学生による「若戸潜舞」など豊作や無病息災を祈る神舞が奉納されました。最後は、食べると1年間無病息災でいられるというダゴ花に見物客が一斉に手を伸ばし、手にしたダゴ花を嬉しそうに持ち帰りました。

志 発駅から楽しいものをお届け

Shibushi ぼっぼマルシェがJR志布志駅で開催され多くの来客で賑わいました。

2月7日、ぼっぼマルシェが開催され、市内のカフェ、雑貨店など多くの出店がありました。ぼっぼマルシェは偶数月の第1日曜日に開催、今回で2回目で次回は4月3日の開催を予定しています。この日はバンド演奏、ミニ四駆や手作り石けんのワークショップなども行われました。



子 どもの健やかな成長のために

「重症心身障害児と家族が元気で生活するために」をテーマに勉強会が開催されました。

2月7日、健康ふれあいプラザにおいて「西国領歯科の小さな勉強会」が開催されました。午前中は摂食に関しての診察があり、午後からは緒方克也先生(医療法人発達歯科会理事長)と十島真理先生(NPO法人かごしま手をつなぐ親の会理事長)の講演が行われ、参加者は熱心に聞き入りました。

文 化財愛護会が講演会を開催

鹿児島国際大学大学院講師の中村明蔵先生が「放生会と安楽山宮神社の浜下り」と題して講演しました。

2月10日、志ふれあい交流館において講演会が開催され、市内外から約40名が参加しました。講演では、市内の神社や寺院、志布志に伝わる天智天皇の伝承などについて詳しく解説し、参加者は「とても面白く話をさせていただき、歴史を楽しく学ぶことができました。」と話していました。

